



議会だより

第147号

かわさき

令和4年8月1日発行
福岡県川崎町

[題字] なかむら かずたか
中村 和貴さん (川崎町役場総務課長)

スポーツフェスタたがわ
(郡民ソフトボール大会)

2位

RANKING



▲川崎町ソフトボール協会選抜チーム(P6、7、16)

6月 定例会議

補正予算・条例……………

みんなの声 聴かせてください!!……………

5人の議員が登壇 ～一般質問～……………

2

6

8

川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

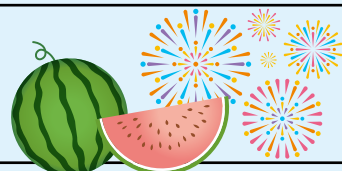
QRコードからでもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き 川崎町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
[お問い合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



補正予算

●一般会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
129億7,820万円	2億1,889万円	131億9,709万円

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業(4回目接種費用)…………… 3,724万円

◆子育て世帯生活支援特別給付金事業(ひとり親世帯を除く低所得世帯)… 2,300万円

町独自

◆「がんばろう川崎町ReBorn!商品券」発行事業

(原油・物価高対策として町民1人当たり1万円分から

1万5千円分に増額)… 8,202万円

●川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
1億6,294万円	100万円	1億6,394万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

条 例

桜・芝生広場、De・愛広場を新たに設置

■川崎町桜・芝生広場の設置及び管理に関する条例

■川崎町De・愛広場の設置及び管理に関する条例

新しく2つの広場を設置したため、それぞれに管理事項等を定めた条例を制定しました。



De・愛
広場



桜・芝生
広場



財産の取得

町内の4小学校に、電子黒板等備品購入

購入内容：電子黒板30台・ビデオカメラ20台 取得価格：12,821,600円



タブレットを利用して、
さらに理解を深める授業の推進が図られる。



●財産の処分

川崎町共同育苗施設(水稻苗)は田川農業協同組合の所有地内に建設され33年が経過し、管理運営は無償で組合が担っており、今後も施設を運営し農家支援を継続するため、育苗共同作業施設(作業室棟)、育苗共同作業施設(緑化室棟)、倉庫を無償譲渡することが議決されました。



▲作業室棟



▲緑化室棟

●工事請負契約の締結

川崎町民運動公園災害復旧工事が締結されましたので、令和4年度事業で復旧工事が行われます。令和4年10月末日に完了予定です。



▲現在の被災道路の様子

●田川広域水道企業団の共同処理する事務の変更 及び田川広域水道企業団規約の変更

田川広域水道企業団の水道用水供給事業を廃止し、関係市町村の水道事業を統合、経営を一体化するため共同処理する事務の変更と規約の変更を行うものです。

【現 在】

田川市水道事業
川崎町水道事業
糸田町水道事業
福智町水道事業
田川水道企業団

水道事業を
統合



【令和5年4月から】

田川広域水道企業団

請 願

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費
国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための
2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について

この請願は、学校教育の充実のため義務教育の国負担分を現在の3分の1から以前の2分の1に戻し、市町村の財政格差から生じる平等な教育を担保すること、職員の負担減、少人数学級編成への取り組みを国に求めるものです。

審査の結果、請願原本にある小学校から高校までという範囲から、町の関与がない高校の文言を除く義務教育とした上で、一部採択となりました。

議会日誌

4 月	
18日	議会運営委員会
20日	第1回川崎町議会(4月会議)
常任委員会	
5日・26日	総務常任委員会
15日	民生文教常任委員会
8日・21日・27日	建設産業常任委員会
6日・13日	広報広聴常任委員会

5 月	
常任委員会	
12日・24日	総務常任委員会
20日・30日	民生文教常任委員会
18日	建設産業常任委員会

6 月	
第2回川崎町議会(6月定例会議)	
1日	議会運営委員会
7日	本会議
8日	委員会(総務・民生・建産)
9日	議会運営委員会
10日	本会議・全員協議会・広報広聴常任委員会 予算決算常任委員会(補正)
14日	民生文教常任委員会 建設産業常任委員会
15日	本会議(一般質問)
16日	本会議(最終日)
常任委員会	
2日・28日	建設産業常任委員会



令和4年度 第1回川崎町議会(4月会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果											
			中 山	北 代	手 嶋 寛	川 根	手 嶋 康	松 田	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	原	樋 口
報 告	専決処分（職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正）	条例内の文言の変更	報告のため採決はありませんでした											
	専決処分（職員の育児休業等に関する条例の一部改正）	育児・介護休業を取得しやすい環境整備などの改正	報告のため採決はありませんでした											
	専決処分（税条例等の一部改正）	固定資産税の負担調整措置などの改正	報告のため採決はありませんでした											
	専決処分（国民健康保険税条例の一部改正）	課税限度額の引き上げなどの改正	報告のため採決はありませんでした											
一条例改正	町長、副町長及び教育長給与条例	人事院勧告により、町三役の期末手当の減額を行う改正	（可決）簡易表決											
制 定 の	桜・芝生広場の設置及び管理に関する条例	P2を参照	（可決）簡易表決											
	De・愛広場の設置及び管理に関する条例	P2を参照	（可決）簡易表決											
締結	工事請負契約	P3を参照	（可決）簡易表決											
発議	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書	「海の日」を現在の7月の第3月曜日から7月20日へ固定化するように求める意見書の提出	（可決）簡易表決											

令和4年度 第2回川崎町議会(6月定例会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果											
			中 山	北 代	手 嶋 寛	川 根	手 嶋 康	松 田	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	原	樋 口
報 告	専決処分（学校給食センター補正予算）	P2 を参照	報告のため採決はありませんでした											
	継続費繰越計算書	継続費のうち、支出の終わらなかったものを翌年度に繰り越すもの	報告のため採決はありませんでした											
	繰越明許費繰越計算書	支出の終わらなかったものを翌年度に繰り越すもの	報告のため採決はありませんでした											
	事故繰越し繰越計算書	一度繰り越したものをさらに翌年度に繰り越すもの	報告のため採決はありませんでした											
一条例改正	職員定数条例	職員の退職等に伴う条例内の定数の改正	（可決）簡易表決											
	大型共同作業場等の設置及び管理に関する条例	条例の別表内の「川崎町育苗共同作業施設」に関する事項を削除するもの	（可決）簡易表決											
財産	財産の処分	P3 を参照	（可決）簡易表決											
	財産の取得	P3 を参照	（可決）簡易表決											
変更	田川広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び田川広域水道企業団規約の変更	P4 を参照	（可決）簡易表決											
補正予算	一般会計	P2 を参照	（可決）簡易表決											
請願	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の請願	P4 を参照	（採択）簡易表決											

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。



議会の傍聴

においでください

次回定例会予定

◎9月 6日…本会議(初日)

◎9月 9日…本会議(中日)

◎9月16日…本会議(一般質問)

◎9月20日…本会議(最終日)



みんなの**声** **聴**かせてください!!

今回は川崎町代表選手に
ソフトボールのよさについてインタビューしました。



週に一度の
健康作り

村上 悟志 さん



沢山のひととの
楽しい時間

小柳 剛 さん



続ける事の
大切さも学べます

木村 哲広 さん



仲間たちとの
ふれあい

石川 雅俊 さん



健康作り
に
おすすめです

久保 和裕 さん

チームワーク

竹下 裕喜 さん



元気が出ます

やま した すぐる
山下 卓さん



若さを保つ秘訣

かわ て おさむ
川手 修さん



身体も心も
リフレッシュ
できます

こ が ひさ し
古賀 寿史さん



スポーツ最高

なか がわ よし かつ
中川 美勝さん



沢山の友人
できました

かみ うら ひろ あき
神浦 宏明さん

日曜日は
ソフトボールで

しげ いし た いち
重石 太市さん



一般質問

よりよいまちづくりを
めざして

町政を
問う!!

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。



まつおか ひさよ
松岡 久代 議員

問 安全安心のため 防犯カメラの設置を

答 町内に複数ヶ所設置

議員 防犯カメラは町の管理運営になると思います。生命、財産、安心・安全が確保されていますか。

町長 防犯カメラは個人が設置、または企業や県が設置したものがあります。当然、町が設置した物は町の管理となります。

役場庁舎、川崎駅、池尻駅、豊州団地付近、塩尻橋、川崎中学校に向かう通学路、不法投棄抑止の為に10ヶ所設置しており犯罪の防止に繋がる道具の一つだと考えています。犯罪防止に役立つと判断する箇所に設置していきたいと考えます。

議員 義務教育の学校には設置されていますか。

教務課長 統合中学校、各小学校とも複数台入っており、今年も増設する予定です。

議員 防犯カメラを設置した以上、個人情報保護の観点から条例も作成しなければならない時期が来ているのではないのでしょうか。

町長 条例を制定する必要があるか検討させていただきます。

問 防災無線放送は 現在のままでいいのか

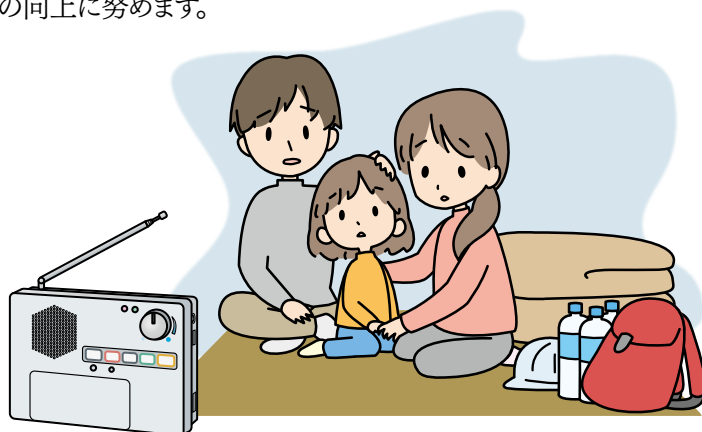
答 エリアメールなど
いろんなものを駆使して対応

議員 町民が表面上の安全に慣れ、暮らしている様に思えます。自然災害が多発する季節となり、防災無線が頼りだと考えますが、策をお尋ねします。

町長 防災無線については、町全体を網羅しており広く住民の方々に情報を周知しています。天候に応じて放送が聞こえづらい場合があるのも事実であり、戸別受信機を貸し出す対応も行っています。これに併せ、エリアメールやLINEを活用し、今後も防災意識の向上に努めます。

議員 戸別受信機が各家庭に設置されると、雨音や環境で聞こえない問題を解消できます。私が知る限り、添田町や大任町が全戸に配布しています。防犯灯と同じく年数をかけてでも各家庭に配布できませんか。

町長 町全域に防災無線を流している為、大多数の方は十分に対応できているのではないかと考えていますが、対応できていない方が居られるのも事実であります。対応策として、戸別受信機をもう少し普及していけばいいのではないかと考えています。



問 医療用ウィッグ等の購入助成を

答 実施に向け、内容を精査



てし ま ゆ み
手嶋 真由美 議員

議員 本町では、がん治療で髪が抜けた人や、がん経験者のための医療用ウィッグ・体の一部を切除した人が着用する補正下着の購入助成をしていますか。

町長 助成は行っていません。

議員 福岡県は、2021年度からアピアランスケア※推進事業を展開し、購入費を助成する市町村を支援するとあります。今後購入助成について本町では検討されますか。

町長 がん患者さんのその後の社会参加の促進と、治療生活の質の向上を図るために、必要なものだと考えています。前向きに検討していきたいと考えます。

議員 前向きにということなので、もう1つお願いをしておきます。県のこの助成には所得制限があります。この件も合わせて対象外となる方への支援も考慮し、今後前向きよりも実施に向けての検討をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

町長 今後そういったいろんな内容を精査し実施の方向で考えていきたいということで、前向きに考えます。

※アピアランスケアとは
がん患者の治療に伴う外見の変化や体の部分的な欠損などに対して、外見と共に周りの環境や患者本人の気持ちを支えるサポート。

問 高齢者の見守り体制の充実を

答 経緯を見ながら、検討

議員 本町での高齢者の見守り体制はどのようになっていますか。

町長 本町の見守り体制は大きく3つあります。

給食サービス見守りネットワーク事業、これは要支援高齢者に配食サービスを提供することによって高齢者の安否を確認しようとするもの。もう1つは緊急通信システム事業、これは、独居の高齢者及び重度の障がいのある方の急病や災害の緊急時に迅速な対応で安全を確保することを目的としています。もう1点は川崎町見守りネットワーク事業、これについては独居の高齢者、障がいのある方へ対して地域住民の方々が声かけ等の安否確認を行うというものです。

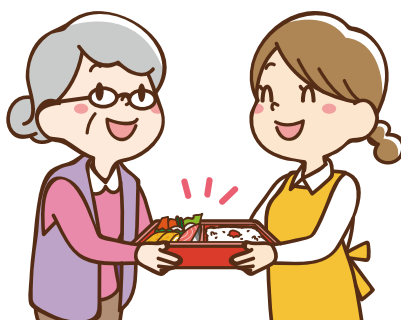
議員 本町の高齢化率と単独世帯は何軒くらいですか。

町長 人口が1万5,774人で、65歳以上の高齢者は6,076人で38.5%、高齢者の単独世帯は2,684世帯となっております。

議員 ヤマト運輸が全国展開する高齢者の見守りサービス、「クロネコ見守りサービス安心ハローライトプラン」。今回、添田町と田川市がヤマト運輸と協定を結び見守りサービスの実証実験を開始しました。本町も利用を検討するべきではないでしょうか。

町長 その経緯を見ながら、本町にとって必要か必要でないかも踏まえて検討していきたい。

他に防災対策についての質問をしました。





問 農業の維持と発展へ 抜本的な構造改革の推進を

答 新たな営農組織を積極的に 創設していきたい

議員 農業の維持と発展を図るうえで営農組織、法人、担い手農家へ集約するなどの抜本的な構造改革や新規参入者の確保、農産物のブランド化による高収入化など、儲かる農業の実現を図るために具体的にどの様に取り組んでいきますか。

町長 個人農業では、労働力に限りがあり組織づくりや農業の集約化が必要です。個人農業者を集約した新たな集落営農組織をこれから積極的に創設していきたいと考えます。

議員 組合、法人、担い手農家への集約化を進めるためには、農業の未来、展望、魅力、やりがい等、将来のビジョンを地域懇談会や説明会などで理解を求めていることが必要ではないでしょうか。

町長 令和2年度に座談会を3回開催し、その中で経営が成り立っている組織の話を聞きたいとの意見があり、令和3年度に視察などを計画しましたが、コロナ禍でできませんでした。今年はぜひ視察研修も積極的に行っていきたい。農業経営者が主体となる農業の将来を考え、町と一緒に取り組んでいくことが必要になると思っています。

議員 農業従事者の高齢化が進み将来への不安があります。

町は農業従事者へサポートをしていただきたいと思います。「レンゲを植えた田から獲れたコメをレンゲ米として町の特産品としていく」と方針にありますが生産農家との契約栽培などはされてますか。

町長 2年前からレンゲ米を推進しています。De・愛の農産物直売所に観光拠点となる施設をリニューアルしました。その一環としてレンゲによる景観作りに農家の皆さんと協力し、レンゲの里づくりをしたいということです。それがレンゲ米の普及となり特産品の開発に繋がってきます。現在のところは地元農家を中心に進めています。

議員 レンゲ米をブランド化していくには、町が主導して商品の売り込みや宣伝などの取り組みが大事であり、ネーミングやパッケージのデザイン登録商標など、整備が必要です。その為の企画、開発、販売促進をしていただけますか。

町長 ふるさと納税の返礼品としており、パッケージのデザインも



町がしています。PR等についてはホームページやメディアを通して推進しており、今のところは個々の農家が収穫したレンゲ米を販売していますが将来的には状況を見ながら発展させていきたいと考えます。

問 ジャンボタニシの 被害防止のため 薬剤費の補助を

答 全体的なもので 補助を検討したい

議員 ジャンボタニシは気温が上がるこの時期から、活動を開始し田植え後の柔らかい苗を好んで食べ、田植え後の苗に大きな被害をもたらせます。このジャンボタニシによる被害防止のための薬剤購入費の一部を補助する制度を検討していただけないでしょうか。

町長 ジャンボタニシの被害については良く理解しています。他にも病虫害による被害もあります。それらの被害防止にいろいろな薬剤を使っており、農業振興で何かを補助するというならば、ジャンボタニシの防除だけに特化せずに全体的なものを含め、こういった補助が出来るのかを来年度にむけて検討していきたいと思っています。

問 SDGsの「ジェンダーギャップ」、 本庁内での状況、取り組みは

答 女性の割合は管理職、係長職まで
入れると県内でも相当高い数字



ひくち ひでたか
樋口 秀隆 議員

議員 SDGsはもうトレンドでは
なく、この数年は常識に変
わってきています。

これは国際的な取り組みのよう
に思われがちですが、実は身近な
問題で、私たちがこの町に生きて
いく上でどのような意味、価値を
持って臨み取り組まなければなら
ないかという話です。

私たち議員や、町長、管理職の
皆さんの年代が種をまき苗を植え、
子育て壮年世代が育て実らせ、そ
の未来の中で青少年が初めてそ
の恩恵にあずかり、浴するというこ
となのです。

SDGsは2030年を達成目標に
上げていますが、8年後のその時
に18歳になった今の保育園児と
か小学生たちに「何を残して、何を
排除できているか」という課題な
のです。

残すべきを残し、排除すべきを

ちゃんと排除しておく。そうしない
と世界中の次の世代、未来の子ど
もたちに回復することができない
負の遺産を残してしまうことにな
りかねない、この地方でもそうい
う危機感を持つ必要があるのでは
ないかと思います。

そのような基本に立って「ジェン
ダーギャップ平等を実現しよう」と
いう項目について本庁の現状、今
後の目標、そして執行部としての考
え方をお尋ねします。

町長 4月現在で、管理職22名に
対し女性は2名で割合につ
いては9.1%です。

しかし、係長職については42名中
16名で37.2%と県内でも相当高い
数値を維持しております。

今後は女性の管理職を増やすと
ともに、職員の体調管理、精神の管
理に努めながら、全庁的な「ジェン
ダーギャップ平等の実現」に努めます。

問 本町では低調な
「地域おこし協力隊」の
対策と展望は

答 反省は行政のフォロー不足、
より重点的に取り組む

議員 先進的に好結果を残してい
るところは、①募集時の工
夫が有効、②受け入れ後のサポー
ト、③定着における創業支援やフォ
ロー、であった。

課題としてとらえて欲しい。

町長 本町のミッションとしての結
果は定住率ゼロという結果
ですが、行政や総合的なフォローが
不足していたと反省している。

今年度は「観光協会の局長ポス
ト」を考えているが、その他定住の可
能性を伸ばすべくこのミッションの取
組みを進めたい。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



**女性の
管理職比率**

課長職以上に就く
女性管理職比率

11.2%

出典：内閣府男女共同参画局 2018年
「階級別・役職者に占める女性の割合の推移」

目標

2030年まで(延長予定)

30%

**女性の
継続就業率**

第1子出産前後の
女性の継続就業率

53.1%

出典：内閣府男女共同参画局 2019年
「共同参画」

目標

2025年までに

70%

合計特殊出生率

女性1人が生涯に産む
子どもの推計

1.36人

出典：厚生労働省 2019年
「人口動態統計」

目標

2025年までに

1.8人



ちば かよこ
千葉 加代子 議員

問 パートナーシップ宣言の検討は

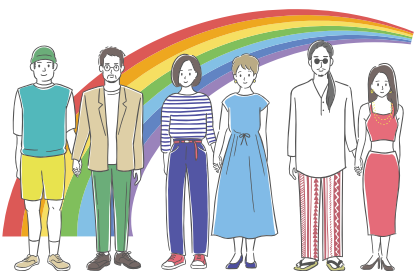
答 研究しながら対策を担う

議員 福岡県は4月1日からパートナーシップ宣誓制度を開始し、市町村でも開始するところが出てきています。一方又は双方が性的マイノリティである2人の者が、「互いの人生において、互いに協力して継続的に生活を共にすることを約した」ことを宣誓し、公営住宅の入居申し込みや公立病院での手術同意等の際に利用できます。本町の意向を伺います。

町長 地域性等がありますので、国・県といろいろなことを研究しながら今後の対策を担っていきたいと思います。

議員 LGBTQに該当する人が、10人から12人に一人の割合で存在すると言われています。性的マイノリティの研修等は実施されていますか。

町長 令和3年10月に実施し、今後も研修等を行う予定です。学校の職員については年に1回程度行っています。



問 校則、制服の見直しは

答 校則は毎年年度当初見直し、制服は現状、見直しの要望がない

議員 ブラック校則の中に、男子生徒のツーブロックという髪型が入っています。本町では検討されますか。

教育長 校則は毎年、年度当初全職員で見直し、確認を行っています。6月3日の生徒総会で髪型の変更、ツーブロック許可の要望が出され、今後、生徒会執行部、PTAの役員と慎重に協議を重ね、職員会議を経て可否を決定していきます。

問 職員に手話研修参加の呼びかけを

答 強制は出来ないがお願いをしたい

議員 手話言語条例に「町は手話に対する理解の促進及び手話の普及に必要な施策を策定し実施する」とあります。今回の入門講座には町の職員が一人も参加していません。震災の研修に手話講座を取り入れている町もあります。強制は出来ないと思いますが、呼びかけ等はできないでしょうか。

町長 本町では毎年、手話奉仕員養成講座を実施しています。近年はコロナ禍で出来ていませんが、住民サービスの面からも、強制はできませんが積極的にお願ひして出ていただけるようにしたいと思います。

問 押印見直しマニュアルは

答 令和3年9月に調査実施要領を策定

議員 施設の利用申し込みを押印欄がありますが、ハンコは必要なのですか。

総務課長 申請用紙の修正を行っていないものがありますので、担当課にサインで良いか尋ねてください。

議員 施設の利用申し込みや講座の申し込み等も電子申請ができるよう検討していただけますか。

町長 マイナポータル、マイナンバーカードを利用してオンライン申請が可能になるよう準備を進めております。令和4年度中は、転入・転出のワンストップ化の対応、児童手当、介護関係等今後もデジタル技術を活用したより良い住民サービスに努めたいと思います。

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



総務常任委員会

寄附額の増額を目指す

令和4年度は、ふるさと納税の更なる寄附額の増額を目指して、

- ①人気のある返礼品を1年を通して提供し続けることができるようにする。
- ②他の自治体にはない返礼品を開発する必要があり、パン博と掛け合わせたパンの返礼品や町内で加工した新しい返礼品などの商品開発を行う。
- ③さらに効果的に広告を活用したい。

ということでありました。

ふるさと納税の返礼品は、ツイートやクチコミなどのインターネットでの情報が重要であり、広告においても写真の撮り方などで印象が変わったりするので、それらの点については気を付けて取り組んでいきたいということでした。

香春町へ研修視察

現在川崎町には1名の隊員が活動しており、最近、キッチンタカセさんとのコラボ商品を開発して、アップルクーヘンを土台にした新しいデザートを完成させて、川崎町の特産品の振興として、売り出しているそうです。

この隊員の任期がことし6月に満了する予定ですが、

コロナの影響により、今後については今のところ未定であるということでした。

この事業は、求めるほう、求められるほうが上手くマッチングしないとうまいかないものなので、例えば農業後継者を求める場合であれば農業等に興味のある人に来ていただいて、町の農業に従事してもらうようにすることも良いのではないかと考えているとのことでありました。そして、隊員に対するフォローとしては職員がきちんと寄り添い、民間のボランティア団体とも協力して、バックアップしていきたいと考えているとのことでありました。

また、委員会では田川郡香春町を訪れ、隊員の募集方法と隊員へのフォロー体制についての研修視察を行いました。まず、隊員の募集を行うときに担当者が特に力を入れたのが募集要項の作成であったそうです。担当者は、募集要項で協力隊に求めることや活動内容を明確にすることで、協力隊として意識の高い方が集まりやすく、町への移住増加につながっていると考えているそうです。また、赴任後のトラブルも解消できるのではないかと考えているとのことでした。

また、協力隊員へのサポート体制については、町と隊員とのコミュニケーションが随時とられており、定例会や定期面談を行うなど隊員へのフォロー体制がきちんと構築されていると感じました。

その他、防災についての調査も行いました。



▲香春町での研修の様子



民生文教常任委員会

これからの活用に期待します

川崎中学校へ行き、電子黒板、タブレットを活用した授業風景を視察しました。

電子黒板はどのクラスも活用していましたが、タブレットの利用はまだまだという状況でした。

せっかくの電子黒板、タブレットなので宝の持ち腐れにならないよう大いに活用していただくこと、教育委員会として先生たちの要望にいち早く応えられる体制づくりを強く要望しました。



▲タブレットを使っている授業風景

基本的な生活習慣の見直しを

小学校6年生、中学校3年生の全国学力・学習状況調査の過去10年分の資料を見ると、福岡県の正答率を100としたとき、川崎町は80前後となっていました。

福岡県と20ポイントの差がある理由としては、「早寝・早起き・朝ごはんができていない」、「家庭での学習が1時間以下」、「スマートフォンの使用時間が多い」といった家庭での教育や基本的な生活習慣にあるようです。

ICT教育が発展、先生が上達して使いこなしても基本的なところは家庭内での教育です。家庭での学習を行うというところを軸にし、5年、10年先を見つめた教育施策をお願いしました。

ほかに、川崎町民運動公園災害箇所に関する調査(現地視察)、西田原教育集会所に関する調査(現地視察)を行いました。

安全な通学路に

毎年9月から10月に通学路の危険箇所を町、県、警察と合同点検実施しているとのことでした。

カラー舗装や白線が消えている通学路もあり、全体的に危険な箇所がありますので、町でできる分については速やかに対応していただくようお願いします。

また、過去に指摘し、対応するとされていた危険な通学路が今回の調査になかったため、当時の事績を確認し早急な対応をお願いしました。



▲川食本店前の道



▲真崎保育園から上真崎への道

十分なサポートで次のステップへ

新1年生の体験入部も終わり、中学校全生徒366名中184名の生徒が部活動に入っているようです。柔道や剣道といった武道系の部活がないことをたずねると、武道を教えられる先生がいないことや、統合時のアンケートで武道系の部活をしたい生徒が1人だったことから部になっていないとのことでした。指導する先生がいないのなら、地域住民の方に協力を募ること等を視野に入れていただきたい。また、今年度から部活動指導員を2名確保していますので、全国大会等に出場する生徒が多く出るように部活動を活性化させるとともに、十分なサポートを行い、スポーツで人を育てる、部活動をしてよかったと思える環境をつくり、次のステップにつなげてほしいとお願いしました。



建設産業常任委員会

町道の現状を知りたい

町道は全体的に経年による老朽化が進んでおり、補修を日々おこなっているが追い付いていないような状況だとのことでした。

ほかにも拡幅工事や町営団地の建て替えに伴う道路の整備、地区からの改修の要望など多くの整備をおこなっているそうです。

委員会からの意見

行き止まり道路が数本あるが、つないで1本の道路にすることで利便性や公益性の増す道路はつなげるようにしていただきたい。

観光基本計画を改訂

平成31年に5カ年計画で作成された観光基本計画ですが、中間年を迎えたため見直しをして改訂をしました。改訂の主な点はバイパスの開通や人口の減少などの情勢の変化を現状に合わせました。また、改訂にあたって現在の計画の達成状況を役員会により5段階で評価しているとのことでした。

委員会からの意見

立てた計画のローリングや途中評価は重要。今後も計画に基づいた政策に取り組んでいただきたい。

工事中の箇所の進捗状況チェック

De・愛広場、桜・芝生広場、大峰改良住宅の3カ所の工事の進捗状況を現地で確認してきました。3カ所とも工程表どおりに進んでおりました。

委員会からの質問

住宅の建て替えは計画策定から建設完了までかなりの年月がかかるが、当初の予定より入居者が減っているのではないかな。

執行部の回答

計画当初より空き家が増えている。計画を見直ししながら整備を進めていく。



◀De・愛広場

桜・芝生広場▶



◀大峰改良住宅

豊前川崎商工会議所のみなさんと懇談会

商工会議所の概要や取り組み、コロナ禍での現状などの説明を受け、執行部から中小企業振興基本計画、観光振興基本計画の説明をしていただきました。

活発な意見交換会ができたと感じています。

商工会議所、執行部、議会と協力して
これからも町の商工の活性化に
努めていくことを再認識!!



今回の主人公



川崎町ソフトボール協会
会長

やました よういちろう
山下 洋一郎 さん

みんな
集まれ

ソフトボールをして良かったこと
楽しい時間を過ごして良い友達ができる。



このチームの仲間と出会って
いろいろな試合をして仲間意識が強くなっている。



次の大会の目標は
まずは郡大会で優勝したい。

ソフトボールの仲間、募集中！
随時、新しいチームも募集しています。

川崎町ソフトボール協会 岡本(080-5276-4251)まで

追跡レポート

消防団員報酬の見直しを

(平成30年12月定例会議の中山議員一般質問より)



令和4年3月定例会議で改正され、
報酬が上がりました

(金額等は議会だより146号に掲載)

ありがたいです。
活動の励みになります。



編集 後記

またまた、コロナ感染者が増加をしています。福岡県では5月上旬以来2ヶ月で1万5千人を超えました。夏祭りで有名な「戸畑祇園山笠」、「長崎くんち」など、今年も中止をする中で「疫病退散」祈願から発したと言われている、「博多祇園山笠」はウイルスに2年勝てなかったが今年は開催されました。世界の平穏無事を祈り無病息災の日々の到来を願い、3年分の「祝いめでた」であったと思います。

「発行責任者」					「広報広聴常任委員会」				
議長	委員	委員	委員	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
櫻井英夫	中嶋信和	手嶋真由美	繁永樹	手嶋英樹	松田孝行	大谷春清			